

Yamato

あなたと大和製衡をむすぶ情報誌

Yamato news

2017.JUL
No.416

CONTENTS

特集

WE JOINED TO THE interpack 2017

国内展示会レポート

FOOMA JAPAN 2017 国際食品工業展

表彰案内

「知財功労賞」を大和製衡が受賞！


メディア掲載情報

自動排出機構付卓上データウェイ™ TSDW-205

Pick up
Contents

魚用品質状態判別装置
フィッシュアナライザ™

連載中 計量法の散歩道



Yamato Official Blog

「ケーニヒスアレーのトリトン」



5月4日から10日にかけ、ドイツ・デュッセルドルフのMesse Dusseldorfにて開催された展示会「interpack 2017」に参加しました。この展示会は3年に一度開催されており、世界最大規模を誇る国際包装産業展です。出展分野は包装材料の製造から加工まで多岐に渡り、あらゆる産業分野の重要な見本市として、数多くの出展者、来場者を集めています。ドイツでは「インダストリー4.0」と呼ばれる産業革命が推進されていることもあります。今年は世界60ヶ国、約2800社が参加していました。

世界の技術革新を推進すべく、弊社ブースではあらゆるニーズにお応えする最新の計量機器を展示しました。開催期間中は実演展示やナレーションを行って常に機械を動かし、

Yamato ブランドが誇る高精度計量の技術を多くのお客様にご覧いただくことができました。



tna社様でのVR体験



広い場内を自転車で移動



ウェイトチェッカー



データウェイ™

3年に1度の包装機械の祭典

「インターパック」がドイツ、デュッセルドルフで開催されました。

OVERSEAS NEWS



省人化に役立つロボットアームとTSDW-206W

多くの方が目をとめていたのは川崎重工株式会社様製ロボットアーム「duAro」と自動排出機構付卓上データウェイ™「TSDW-206W」です。自動で被計量物を載せ台に置くことができるロボットアームの動きは長時間見ていても飽きることがなく、大人のみならず、子供まで熱心に説明員の話に耳を傾けられる姿も見られました。次にこのコラボレーションが見られるのは10月にドバイで開催される「Gulfood Manufacturing」展の予定です。



組合せ計量機と包装機



会場は歴史ある空間で

華やかに開催されたYamato Gala

Yamato 主催のパーティーにお客様をご招待しました。弊社社長のサックス演奏をはじめ、弊社副社長を含む包装機械工業会のメンバーによる演奏、和太鼓の演奏、書道パフォーマンスなどアトラクションも盛りだくさんでした。



和太鼓の演奏



お客様は世界各国からご来場

JAPAN EVENTS



TSDW-206W-SIN



MaBS ~まぶす™~

6月13日から4日間にわたり、 FOOMA展に出展いたしました。

東京ビッグサイトに新設された7ホールでの展示ということもあり、さまざまな新しいことに挑戦してみました。中でも注目を集めたのは世界初公開の自動排出機構付卓上データウェイ™TSDW-206-SINです。2列だった載せ台部分が1列になり、限られたスペースでも作業者が1人で定量計量作業しやすいようになりました。カットキャベツのようにハンドリングの悪い商品でも作業しやすいということも魅力のひとつです。



オリジナルミネラルウォーター



Yamato受付

P

PICK UP CONTENTS



魚の脂肪も 読みますか。

フィッシュアナライザ™は、高品質な水産物を消費者に提供するとともに、優れた魚のブランド化を実現するために開発された製品です。

従来の6魚種(アジ、マサバ、イワシ、サンマ、ブリ、マグロ)に加えて8魚種(ゴマサバ、マダイ、キンメダイ、カツオ、サケ、ニジマス、サワラ、メダイ)が追加となり計14魚種の脂肪率を測定できるとともに、検量線モードにてあらゆる魚の脂の乗り具合を測定することができます。さまざまな機能にて、漁業・水産業、食品加工業など多くの水産現場で活用できる製品です。

【青森県】

品質の「見える化」が 新たなブランドを生む

お客様／納入先

津軽海峡本まぐろ(青森県)

「津軽海峡本まぐろ」の品質管理にフィッシュアナライザ™をご活用いただいています。「津軽海峡本まぐろ」は船上や荷捌所での高鮮度処理が市場関係者から高い評価を得ており、品質や美味しさに注目が集まっています。その品質の「見える化」に一役かっているのが、Yamato が産学官共同開発した魚用品質状態判別装置、フィッシュアナライザ™なのです。



フィッシュアナライザ™
魚の脂肪を簡便・迅速・高精度に測定できる魚用品質状態判別装置

多くの水産現場で活用



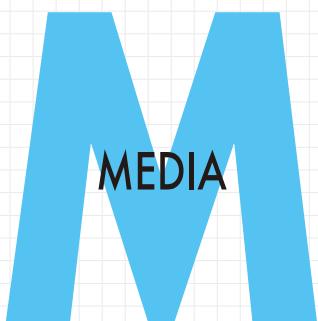
COMMENDATION



「知財功労賞」を大和製衡が受賞！

平成29年度の「知財功労賞」経済産業大臣表彰を受賞いたしました。

この賞は知的財産権制度を有効活用している優良企業に授与されるもので、経営層の知財意識の高さ、弁理士資格者を含む9名から成る知財担当部門(情報特許課)を設置していること、「フィッシュアナライザ™」や「トラックスケール」、組合せはかり「データウェイ™」に関する多くの特許取得、活用が評価されたものです。懇親会では弊社の幅広い商品展開も話題になりました。



2017.1 NHK Eテレ 「ピタゴラスイッチ」特別番組 «大人のピタゴラスイッチ～ピーマンとハトと数学～»

お正月の人気番組に「自動排出機構付卓上データウェイ™ TSDW-205」が登場しました。子供が見ても大人が見ても組合せや確率の仕組みが分かりやすく、他の製品や大和製衡についても知りたい、という視聴者からの反響もありました。



2017.3 サンテレビ「キラリ経済」

産学官共同開発の魚の脂のりを計測する新兵器として「フィッシュアナライザ™」が紹介されました。魚価の安定やブランド価値の向上に一役かえる、今後も注目が集まりそうな機種です。

2017.3 サンデー毎日「会社の流儀」

「スポーツと音楽で事業経営を芸術する」世界で活躍する総合計量機器メーカー
弊社社長インタビューが掲載されました。

2017.4 財界「2017年をリードする企業」

世界最先端を行く高精度な“定量計量”的技術力で世界No.1企業を目指す
弊社社長インタビューが掲載されました。



ヤマトハカリ計装株式会社 移転のお知らせ

〒673-0849 兵庫県明石市茶園場町5番72号 TEL.078-912-2350

Yamato Official Blog

～ 大和製衡 公式ブログ～

大和製衡では、週に1度のペースで公式ブログを更新しています。内容は製品のことから展示会情報、社員インタビューなどさまざま。あらゆる角度からYamatoの魅力をお伝えしています。ここでは、ブログ上から3つの記事をピックアップして簡単にご紹介します。パンフレットやHPでは知りえない情報が盛りだくさんなので、続きを読む気になる方は是非ブログをチェックしてみてくださいね！また、SNSも随時更新しているので、フォローをよろしくお願いします。

2017.04.12

大和製衡は創業97周年を迎えました！ ～大和製衡社歌のヒミツ～



大和製衡は今年で創業97周年を迎えました。記念式典では社員で社歌を斉唱するのですが、この曲の背景にも、長い歴史が関わっています。

会社に貢献した社員はこの場で表彰されるので、更に精進しようと気持ちになります。

Yamato Official Blog へはちらから！

<http://yamato-scale.blog.jp/>

SNSも更新中!!



2017.04.28

2017フットサル部交流戦



「クラブ活動も盛んな大和製衡。フットサル部は、月2回土曜日に会社の体育館で練習しています。どなたでも応援に来ていただけますので、ぜひ皆さんお越しください。

他社様との練習試合も行っており、4月に開催された試合は絶好のフットサル日和でした。

はたして気になる優勝カップの行方は…！？」



2017.04.28

【暮しの手帖】台所用の小型バカリをテストする【こんなことやってました】



「と姉ちゃん」のモデルとなった、「暮しの手帖」をご存知ですか？広告抜き、ヤラセなしの実証企画が話題となった、総合生活雑誌です。

その実証企画に、大和製衡のはかりが登場したことがありました。テスト結果は厳しいお言葉もありましたが、とても勉強になるものでした。

2014年7月から2017年7月まで7回連載してまいりましたが、今回をもって一旦終了といたします。
今後、最新情報がございましたらトピックスとして適宜お知らせいたします。

分銅・おもりと一口で言っても計量法により大きく3つの制度・規定(種類)があります。

一つ目は基準器検査制度で規定された基準分銅(基準器検査証印)、2つ目は品物を計量するときに用いる特定計量器の分銅・おもり(検定証印付)、3つ目は登録事業者により校正された標準分銅(JCSS標章付)です。目的・用途によりそれぞれ規定されています。

下表「分銅の種類」は項目ごとに要点をまとめたものです。

分銅の種類

項目 種類	① 基 準 分 銅 <基準器検査制度>	② 分 銅・おもり (検定証印付) <特定計量器>	③ 標 準 分 銅 (JCSS標章付き分銅) <トレーサビリティ制度>
① 規定書類	計量法 基準器検査規則	<ul style="list-style-type: none"> ・特定計量器検定検査規則 ・JIS B 7611-3:2015 非自動はかり —性能要件及び試験方法— 第3部：分銅及びおもり —取引又は証明用— 	<p>計量法 ・計量トレーサビリティ制度 (法第134条～146条) ・JIS B7609:2008(分銅)</p>
② 目的・用途	検定・検査時に基準として用いる 分銅	上皿等比天びん等を用いて物理的な 計量の基準として用いる分銅	<p>① 登録／認定事業者が校正する国 家標準にトレーサブルであること が証明された分銅 ② 計量器所有者が、はかり又は分 銅の定期点検、自主検査に使用 する分銅</p>
③ 所有できる者	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県知事(計量検査所等) ・特定市町村の長(計量検査所等) ・届出製造事業者 ・届出修理事業者 ・指定検定機関 ・指定定期検査機関 ・指定計量証明検査機関 ・特殊容器の指定製造者 ・計量士 	・計量器所有者	・一般計量器所有者／使用者
④ 種類(クラス)	<ul style="list-style-type: none"> ・特級基準分銅 F1 ・1級基準分銅 F2 ・2級基準分銅 M1 ・3級基準分銅 M2 (実用基準分銅含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分銅 ・定量おもり ・定量増おもり 	OIML E1, E2, F1, F2, M1, M2, M3
⑤ 質量範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・特級基準分銅 F1: 1 mg～20 kg ・1級基準分銅 F2: 1 mg～20 kg ・2級基準分銅 M1: 10 mg～1 t ・3級基準分銅 M2: 10 mg～1 t ・1級実用基準分銅: 1 mg～20 kg ・2級,3級実用基準分銅: 10 mg～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・分銅 (10 mg～30 kg未満) ・定量おもり (最大質量は 表示量×5/100) ・定量増おもり(最大質量は ひょう量×てこ比) 	<p>OIML ・E1: 1 mg～50 kg ・E2: 1 mg～1 t ・F1, F2, M1: 1 mg～5 t ・M2: 100 mg～5 t ・M3: 1 g～5 t</p>
⑥ 表示	<p>基準器検査証印</p>  <p>・実用基準分銅には、上記証印を付すことは不可</p>	<p>検定証印</p> 	<p>登録／認定事業者が発行する校正 証明書に付す標章</p> <p>JCSS</p>
⑦ 値付けの有無	値付けは行わない	値付けは行わない	値付けを行う 協定質量を記載
⑧ 有効期間	<ul style="list-style-type: none"> ・特級基準分銅 : 3年 ・鋳鉄・軟鋼製の基準分銅 : 1年 ・上記以外の基準分銅 : 5年 <p>・実用基準分銅(参考: 質量標準 管理マニュアルによる) 鋳鉄・軟鋼製 : 半年 上記以外のもの : 1年</p>	定期検査: 2年	<p>・特定二次標準器: 3年</p> <p>登録／認定事業者が校正した分銅 の校正証明書に有効期限は記載で きない。 所有者が校正期間を管理する使用 頻度、使用環境、保管状態により 1年～2年が目安となる。</p>
⑨ 検査を行う者	<ul style="list-style-type: none"> ・特級基準分銅 → 経済産業大臣 ・1級、2級、3級基準分銅 → 都道府県知事 (実用基準分銅 → 届出事業者) 	都道府県知事	登録／認定事業者
⑩ 備考	<p>実用基準分銅は、基準器を補完補助する器具。</p> <p>① 基準分銅の性能を損なう恐れがある場所での検査</p> <p>② 特殊形状分銅を必要とする検査等で使用される分銅で質量標準 管理マニュアルの提出が必要。</p>		

信頼・技術・創造

大和製衡株式会社

URL: <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
東日本支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号
中日本支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号
千葉営業所 〒264-0025 千葉市若葉区都賀4丁目8番18号
九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL.078-918-5555
TEL.03-5776-3121
TEL.052-238-5730
TEL.043-214-3920
TEL.092-471-1921